

東部土木登米地域だより

長沼ダム試験湛水開始

長沼ダムでは、ダム本体工事等が完成したことから、ダムへ水を試験的に貯めてダム本体や放流設備、貯水池周辺などに問題がないかを確認するための「試験湛水」を開始しました。11月1日（金曜日）には、報道関係者を対象に現地にて概要説明を行った後、長沼水門の閉扉作業及び仮設ポンプの起動作業を公開しました。



<仮設水中ポンプの設置状況>



<仮設ポンプ配管(赤色)と長沼水門>



<試験湛水前>

長沼ポート場の様子



<11月29日時点>

《試験湛水概要》

【実施期間】 今年11月1日 から 来年3月 まで（予定）

【湛水容量】 2,150万m³（東京ドーム×17杯分、小学校プール×72,000杯分）

トピックス

1. 道の日クリーンキャンペーンを実施しました（8月7日）

8月10日の「道の日」にあわせて、土木事務所職員29名で主要地方道古川佐沼線約3.0kmの区間（迫町北方字兵糧山（兵糧山入口）～迫町新田字北立戸（立戸集落センター））のごみ拾いや除草、道路付属物の清掃等を行いました。また、スマイルサポーター6団体（イオンタウン佐沼、日建工業(株)クリーンチーム、(株)島津組、(株)阿部建設、宮田建設(株)阿部信行氏）が各認定区間で清掃活動等を実施しました。



<実施風景①>



<実施風景②>

2. 第2回 長沼ダム管理検討会 を開催しました（8月8日）

「長沼ダム管理検討会」は、関係機関や有識者、地域住民の代表からなる委員で構成され、長沼ダムのより良い管理体制を構築することを目的に、今年4月に設置されました。

第2回目となる今回の検討会では、ダム施設の現場視察、前回の検討会意見に対する検討報告、及び 新たな検討課題についての意見交換等が行われました。

今後も引き続き、長沼ダム管理の課題に対する対策案を検討していきます。



<現場視察>



<検討会>

3. 「道路ふれあい月間パネル展」を開催しました（8月9日～18日）

8月は「道路ふれあい月間」であり、普段通行している道路の重要性を再認識してもらうため、また、道路への親しみや愛着を持っていただき、よりよい住民参加の道路環境づくりを推進するため、イオンタウン佐沼にてパネル展を開催しました。

当事務所の道路事業の概要や、道路の美化活動をボランティアで行っているスマイルサポーターの活動写真などを展示しました。



<実施風景①>



<実施風景②>

4. 屋外広告物ローラー作戦を実施しました（9月2日～3日）

屋外広告物適正化旬間（9月1日～10日）に伴い、当事務所では、屋外広告物制度の啓発普及を図り、違反広告物に対する是正指導を強化するため、2日間にわたりローラー作戦を実施しました。

屋外広告物が集中する都市計画区域内や国道沿いを中心に巡回し、電柱はり紙の除去や許可が必要と思われる広告物の管理者へ、制度の周知と許可手続きについて説明しました。



<撤去前>



<撤去後>

5. 迫川フェスティバル in 長沼レガッタ を開催しました（9月29日）

第24回 長沼レガッタの開催にあわせて、迫川フェスティバル を開催しました。
今回の迫川フェスティバルでは、長沼ダム建設事業の歴史と効果や長沼ダムの試験湛水について県民の方々へ広くお伝えするため、パネル及び模型の展示やビデオ上映を行いました。当日は天候にも恵まれて多くの方々にご来場いただき、また、併設したミニゲームコーナー（わなげ）では沢山の子供たちが参加し楽しんでくれたようです。



<模型展示>



<ミニゲーム（わなげ）>

6. 迫川河川クリーンキャンペーンを開催しました（10月29日）

県建設業協会と合同で、迫川及び旧迫川の清掃活動を実施しました。今年は、協会員19社、97名と、当事務所27名が参加し、迫川41.6km、旧迫川19.2kmの区間のゴミ拾いなどを行いました。河川敷には空き缶、ペットボトル、紙くず、ビニール袋、古タイヤ、家電製品等が捨てられており、約1.6トンのゴミを回収しました。

当事務所では、一向に無くならない河川への不法投棄を防止するため、今後も根気強く河川愛護を啓発していきます。



<実施風景①>



<実施風景②>

7. 蕪栗沼環境管理会を開催しました（11月6日）

大崎市田尻総合支所において、「平成25年度蕪栗沼環境管理会」が開催されました。「蕪栗沼環境管理会」は、動植物の貴重な生育空間である蕪栗沼とその周辺の蕪栗沼遊水地において、これらの管理及び保全上必要な事項を検討・協議するため、関係する土地改良区代表者やNPO法人代表者、環境省東北環境事務所、関係市の事業担当者などを委員とし平成12年度に発足した組織です。

本年度の環境管理会では、蕪栗沼周辺での小山田川外堤体整備工事の計画・施工、以前からの懸念事項であった遊水地内の電力柱の移設、蕪栗沼の水質・生物環境について協議し、活発な意見が交わされました。



<環境管理会の様子>



<飛来したオオヒシクイ>

8. 『長沼川を考える会』を開催しました（11月20日）

平成25年11月20日（水）、「第12回長沼川を考える会」が開催されました。長沼川を考える会は、平成17年に発足し、今回で12回目を迎えました。会議では、平成24年度までの3箇年で行われた長沼川地域協働事業（コラボ事業）の成果の報告や、現在の長沼川河川改修事業の進捗について当事務所より説明しました。

また、長沼川の歴史についてや、昨年度の長沼川クリーンキャンペーンの効果の検討などの議論が行われました。その後、長沼川河川改修事業で施工している長沼川放水路区間の樋門工事や、橋梁下部工工事の現場見学を実施しました。



＜長沼川を考える会の様子＞



＜現場見学＞

スマイルサポーター活動紹介



●道路功労者表彰が行われました（8月21日、8月30日）

長年道路の美化活動、道路景観の維持向上等に努め、その功績が特に顕著な団体として、国土交通大臣より、道路愛護団体「登米町道路愛護会」、スマイルサポーター「南町昭和会」が表彰されました。また、「登米町道路愛護会」については、道路の愛護、環境の整備に永年にわたり顕著な功績があったとして、日本道路協会会長からも表彰されました。



＜表彰状を囲んで＞



＜表彰の様子＞

●スマイルサポーター功績者表彰を行いました（7月31日、8月30日）

長年にわたり、県が管理する河川や道路の清掃・除草などを積極的に継続され、美化活動の模範となるスマイルサポーターに対し、その功績をたたえるため、表彰式を行い知事の感謝状を伝達しました。

スマイルリバーのサポーターは、（株）渡辺土建親睦会、長沼川カワルン会、久光電気（株）、スマイル会、亀井電気（株）の5団体が受賞されました。

また、スマイルロードのサポーターは、（株）島津組が受賞されました。



＜表彰状を囲んで＞



＜表彰の様子＞

●「架け橋」がスマイルサポーターに加わりました（10月18日）

登米市職員有志者を中心とする団体「架け橋」が、スマイルサポーターに認定されました。「架け橋」は、市街地を流れる長沼川の全長約8.8kmの区間で清掃作業や除草活動を行い、長沼川の環境改善を目的に、地域住民と協働した積極的な活動を展開していきたいとのことです。今後の活躍が大いに期待されます。



<覚書の締結>



<認定証を囲んで>

事務所からのお知らせ



スマイルサポーター募集中！！



県では、県が管理する道路や河川で、ボランティアによる美化活動を行う個人や企業、団体を「スマイルサポーター」として認定しています。地域の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmdbk/smilesapporter.html>

屋外広告物制度について

屋外広告物を設置するにはさまざまな規制があり、県の許可が必要となる場合があります。



屋外広告物とは

- 店や会社の壁面に掲示する文字や絵
- 道ばたに設置する案内看板や宣伝、はり紙
- 広告塔や電光掲示板

その他、屋外に継続して表示するものはすべて屋外広告物となります。事業所や自己敷地内での表示も含まれます。



地域による規制

- 表示できない地域（禁止地域）
高速自動車道から500m以内、自然環境保全区域、文化財区域など
- 許可が必要な地域
都市計画区域内、国県道から500m以内など

大きさや表示方法などさまざまな規制がありますので、設置の際にはお問い合わせください。

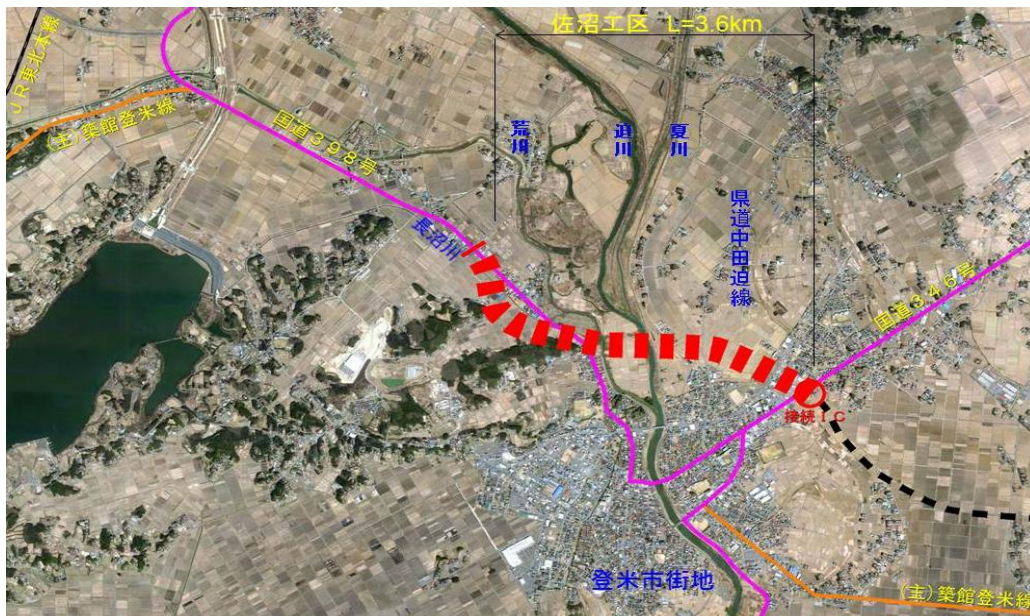
制度の詳細内容 → <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tosikei/okugai-kisei.html>

お問い合わせ先 → 東部土木事務所登米地域事務所 行政班 電話：0220-22-2494

主要事業紹介

○みやぎ県北高速幹線道路 Ⅲ期(佐沼工区) 事業着手

みやぎ県北高速幹線道路のⅡ期(中田工区)は、平成23年度に事業採択されていますが、引き続き、Ⅲ期(佐沼工区)が本年5月に事業採択され、調査設計に着手しました。みやぎ県北高速幹線道路は栗原圏域と登米圏域の交流や連携を強化し県北地域の東西軸を形成する重要な道路です。地域の皆様のご協力のもと事業を推進してまいります。



○下町跨線橋 年度内に開通予定

涌谷津山線のJR気仙沼線交差部は、歩道もない狭く屈曲した道路で、通行に支障を来し、地域の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、年度内開通の目処が立ちました。開通の日については、追って、広報等でお知らせします。



シリーズ① ～湖沼めぐりと土木遺産～ <第2回>

シリーズ第1回では、湖沼をメインに紹介しました。今回は登米地域事務所管内の土木遺産[※]をメインにいくつか紹介していきたいと思います。

※一般的には現存する明治時代から昭和初期につくられた生活基盤のことですが、「みやぎの土木遺産」とは、建設した年次にかかわらず、宮城の地域産業の発展や私たちの暮らしを支えている、代表的な土木施設をいいます。

<山吉田水門>

昭和7年から14年にかけて、現在の登米市米山町山吉田から北上川分流地点である剣先までの32kmあった迫川を僅か11.7kmに短縮する新川開削事業が行われました。

その事業の主体である迫川の分岐のために、山吉田水門及び洗堰が新設されました。

本水門は全幅17.3mで手動式巻揚機八連を配し、洪水位の低下、旧迫川への洪水流入防止及び維持用水確保に半世紀以上経過した現在においても利用されております。

また、8年間に渡って行われた迫川の新川開削の掘削土量は約440万立方メートルに上りましたが、その作業は短梯式開削機や馬力、人力等により行われていることから、先人達がいかに困難・苦難を乗り越え事業を成し得たかが伺い知れます。



現在の山吉田水門



人馬による掘削作業（昭和10年代）



現在の登米大橋



大正15年頃の来神橋（舟橋）

<登米大橋>

登米市登米町の北上川に「橋」が懸かったのは大正6年のこと。山田義三郎氏を中心に架橋組合が組織され、長さ117間の『舟橋』によって登米町上町～日根牛舟場が繋がりました。大正15年、「来神橋」と呼ばれていたこの『舟橋』を登米町が買収し、その後、宮城県が管理しています。

『舟橋』とは、川に船を並べ、その上に桁を配置して踏板を敷いて通行に供した橋です。固定した橋脚がなく水上に浮きながら留まっているので、船が上下する度に橋が上下することになります。

昭和20年、コンクリート床版橋(RCT桁)の登米大橋(長さ310m、幅4.8m)が完成し、昭和44年12月には幅1.5mの歩道橋が併設されました。

現在の登米大橋は、昭和53年6月の宮城県沖地震によって上部工が被災したため、昭和54年12月に鋼床版鉄桁に架け替えられたものです。



昭和20年完成の「登米大橋」建設状況

シリーズ② ～新任職員紹介～ <第2回>

前号に引き続き、今年度から新たに県職員となり、当事務所に配属された5人の新任職員の紹介です！第2回目となる本号では、**道路建設班の佐々木技師**、**河川砂防班の齋藤技師**の両名に、県職員としての抱負を語っていただきました。

新人ということもあり、日々の業務において、まだまだ至らない点多々ございますが、今後とも皆様の温かいご指導ご鞭撻の程、いただければ幸いです。

はじめまして、佐々木です。私は岩手の県北出身ですが半年も経過して着実に登米の男、**登Men's**になりつつあります。気仙沼市を岩手県の一部だと思っていたあの頃の私ではありません。完全に宮城県民です。(気仙沼に縁のある皆様、申し訳ありませんでした。)

現在では担当業務も持つようになり、てんやわんやの毎日を過ごしていますが、良き上司、先輩、同僚に支えられ、楽しく仕事に取り組んでいます。

まだまだ未熟者ですので、これから研鑽を積み一人前のエンジニアを目指していきたいと思っております。



(佐々木技師：道路建設班)

(齋藤技師：河川砂防班)



入庁から半年過ぎましたが、**管理**ということの難しさを痛感しています。また河川と砂防の工事をするときには**歴史**を知ることが重要だと感じました。

今年の目標はこれから出会う人たちと**笑顔**であいさつをすること。つらいことも楽しいこともあつという間に過ぎてゆくとおもいます。そんな充実した時間を皆さんと一緒に過ごしていきたいので皆さん、**よろしくお願ひします (^ ^)**

次回は長沼ダム建設班の今野技師の紹介です。お楽しみに！

編集後記

平成24年8月に「東部土木登米地域だより1号」を発売して以来、5回目の発行となりました本号では、8月～11月にかけての事務所の事業紹介を中心に掲載しました。次回発行は平成26年3月を予定しております。

今後とも皆様に楽しんでいただけるよう、取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。



宮城県東部土木事務所登米地域事務所

〒987-0511

登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

TEL：0220-22-7533

FAX：0220-22-7534

事務所ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/et-tmdbk/>

事務所代表メールアドレス

et-tmdbk@pref.miyagi.jp